

平成 21 年 2 月 10 日
パリ産業情報センター
駐在員 社本 朗

一般調査報告書

リスボン観光見本市(BTL)で愛知県観光 PR

2009 年 1 月 21 ~ 25 日の 5 日間、ポルトガル・リスボンにてリスボン観光見本市(BTL: Bolsa de Turismo Lisboa (Lisboa Travel Market)) が開催されました。

この見本市は最初の 2 日間は旅行会社、ホテル、レストランなど旅行関連企業を対象とした B to B(企業間取引)で、後半 3 日間は一般市民を対象に行われました。

日本の観光 PR の場として、在ポルトガル日本大使館を中心にしてジャパンプースが作られました。

愛知県パリ産業情報センターはジェトロ((独)日本貿易振興機構)パリ内に事務所を構えている関係から、ジャパンプースの中のジェトロのスペースを利用させていただき、愛知県の観光 PR を行いました。

観光の PR と同時に、来場者に対して愛知県・名古屋市の地名認知度、ポルトガルから日本への観光旅行の意識についてアンケートを行いましたので、今回はその結果をご紹介します。

<リスボン観光見本市(BTL)の概要>

この観光見本市は 1989 年以降毎年開かれていて、今年で 21 回目を迎えるポルトガル最大観光見本市です。

今年も 5 日間開催で 71,121 人の入場者があり、昨年と比べると入場者は 6%増加しました。

今年から旅行関連企業を対象にした期間を拡大したことから、ポルトガル以外から訪れた旅行業界関係者は最初の 2 日間で 600 社に達しました。

ポルトガルの各地方や旅行関係企業(ホテル等)、外国の政府ブースなど約 900 団体がブースを構え、音楽等のイベントを繰り広げながらそれぞれ各国独自の観光 PR を行っていました。

日本ブースでは、ジェトロも協力した点茶のデモンストレーションや着物着付けサービス、折り紙教室、書道、コスプレショー、獅子舞など様々なイベントが行われ、最も賑わっていたブースの一つでした。

ジェトロのブースでは一般的な日本観光情報やジェトロの活動の PR を行ったほか、愛知県



ジャパンプース(ジェトロスペース)での PR の様子

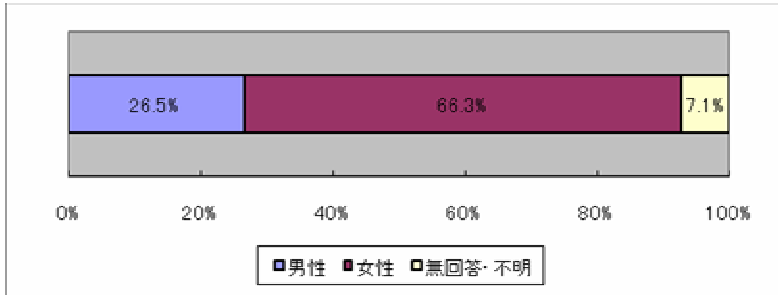
の観光 PR も行いました。

<愛知県・名古屋の地名認知度 13%>

この見本市で行ったアンケートでは、来場者の特徴、旅行の情報ソース、愛知県・名古屋市の地名認知度などを来場者約 100 名に質問しました。

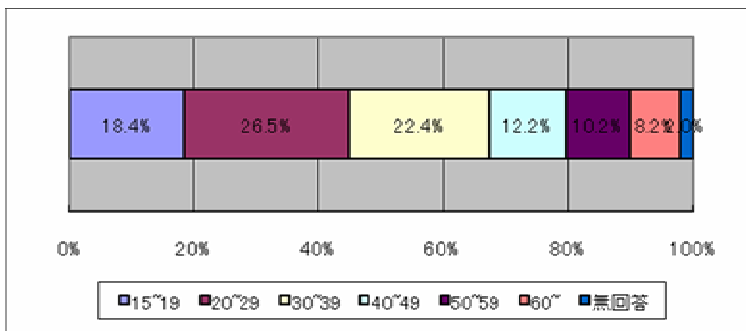
(1) 来場者の特徴

ア 性別



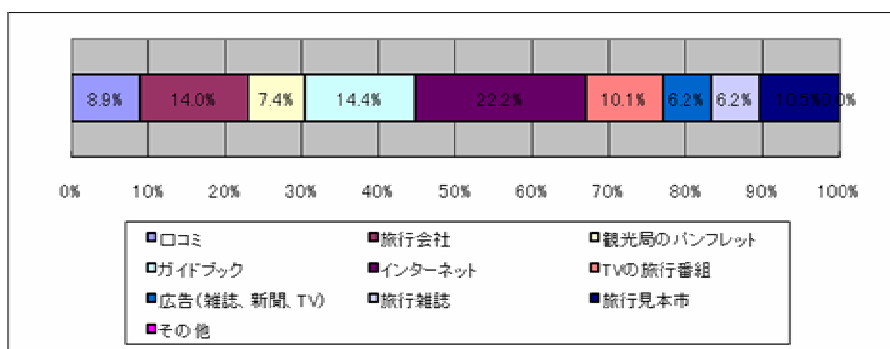
女性が男性の約 2.5 倍と女性の来場者が目立ちました。

イ 年齢別



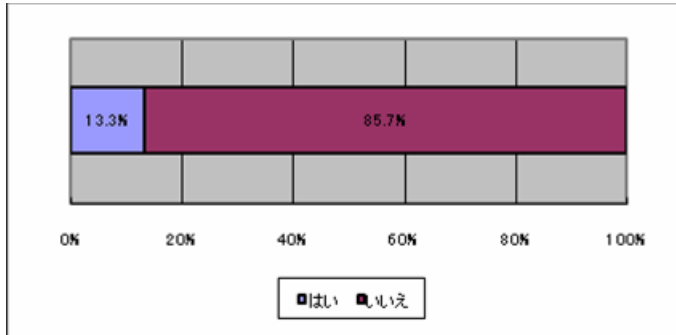
15～19 歳の学生、20～40 歳の家族連れが約 67%を占めました。

(2) 旅行をする際に優先する情報リソース



インターネットを利用した情報収集が 22.2%と圧倒的でした。ガイドブック、旅行会社も多数を占めました。

(3) 愛知県・名古屋市の地名認知度

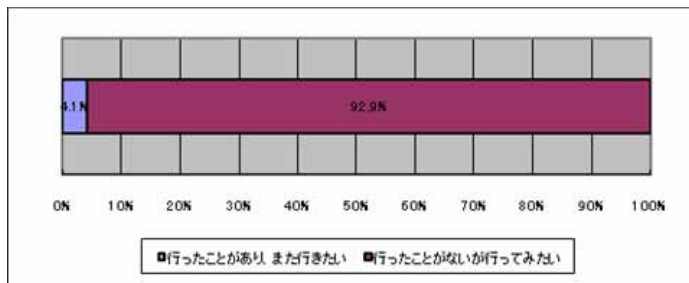


13.3%の人が愛知県又は名古屋市の存在を認識していました。

ただ訪れたことがある、という人は数名でした。

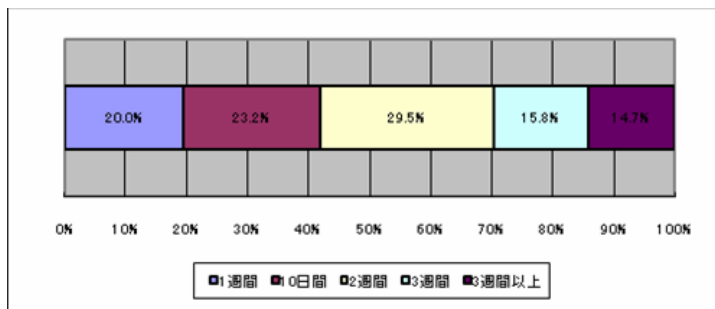
この数名の訪問目的は、ビジネスだったり、イベント参加で、観光目的で訪れた人はいませんでした。

(4) 訪日経験



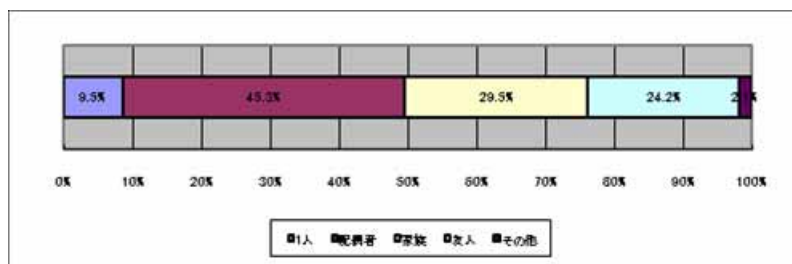
約93%の人が「日本には行ったことがないが、行ってみたい。」と答え、日本への旅行への高い関心が感じられました。

(5) 日本への旅行を計画した場合、その計画内容 ア 予定旅行日数



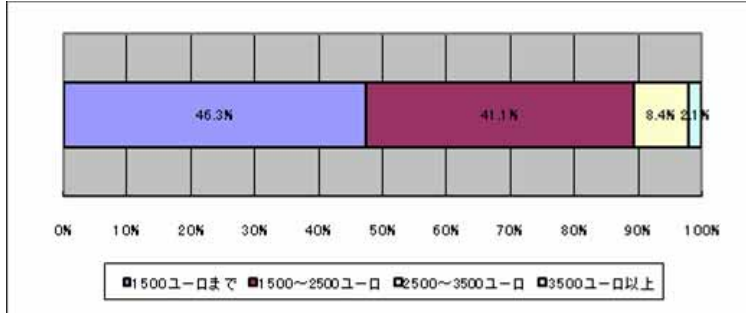
1~2週間くらいの期間が必要との回答が72.7%と大半を占めました。

イ 同伴者



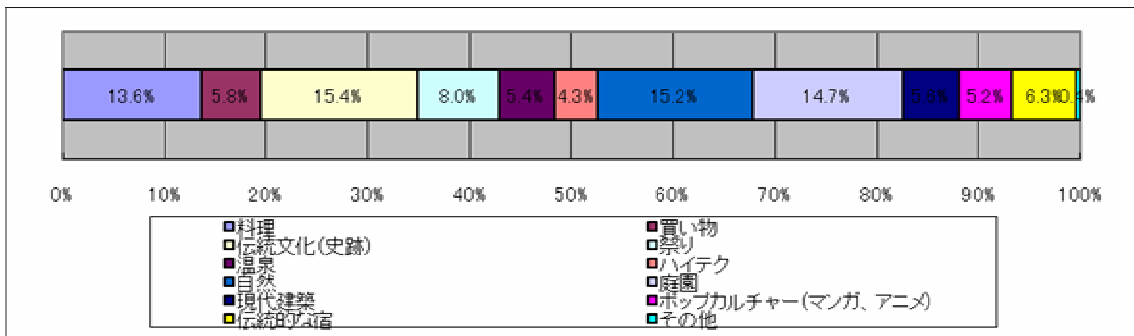
配偶者、家族と一緒にいきたいという回答が74.8%と大半を占めました。

ウ 旅行予算(航空券込)



2,500ユーロ(約300千円)以下が87.4%を占め、低価格での旅行を希望している傾向がうかがえました。

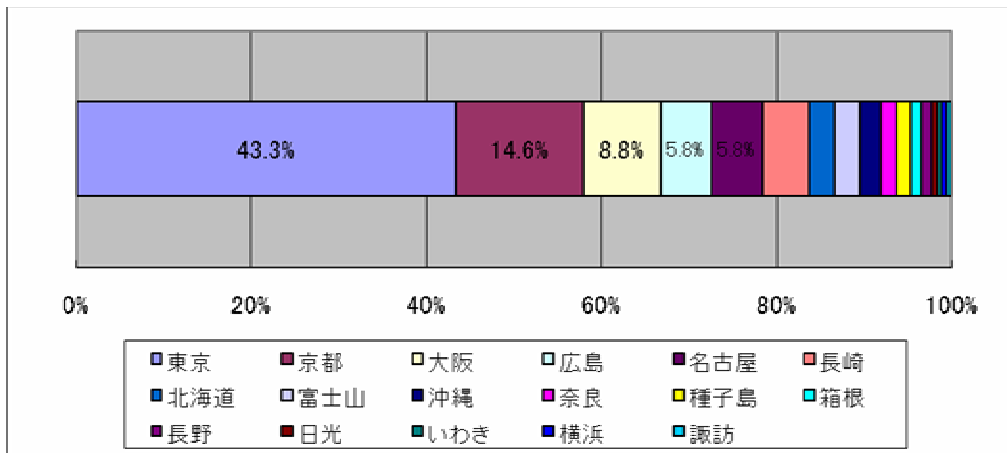
エ 旅行で訪問・体験したいこと



伝統文化(史跡)15.4%、自然 15.2%、日本庭園 14.7%の順位で人気が高く、日本料理にも大きな関心が寄せられました。

日本独自の歴史的なものへの興味の高さが感じられました。

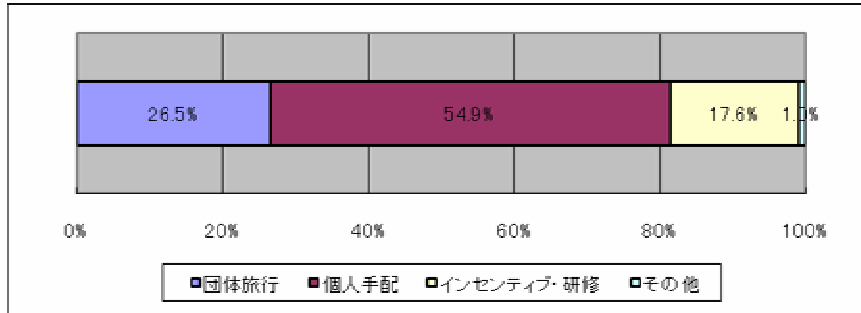
オ 訪問したい都市



東京 43.3%、京都 14.6%、大阪 8.8%、広島 5.8%、名古屋 5.8%といった都市が上位を占めました。

日本に行ったことがない人がほとんどなので、都市の知名度と訪問への興味は連動するところがあると考えられます。

カ 旅行形態



個人手配による旅行形態を希望する人が 54.9%と過半数を占めました。団体旅行希望者も 26.5% 占めましたが、理由としては、団体旅行の方が安価であるということや日本の観光地についてそんなに詳しくないので団体旅行の方が効率的に見学できる、言語の問題、などが挙げられました。

<まとめ>

アンケートを実施してみて感じたことは、ポルトガル人の日本への親近感と関心の高さでした。

一方、ポルトガル人の EU 内での平均所得の相対的な低さを反映してか、「日本への旅行は夢だが、非常に高価だ。」という感想がたくさん聞かれました。

愛知県、名古屋市の知名度は決して高くありませんでしたが、トヨタの本社が位置し、産業面で発達し、自然も歴史も豊かであり、東京、京都へのアクセスが良い、と知ると興味を示す人が結構いました。

来年 2010 年は日本・ポルトガル修好 150 周年でもあるので、これを一つのきっかけにして観光交流が広がると良いと感じられました。